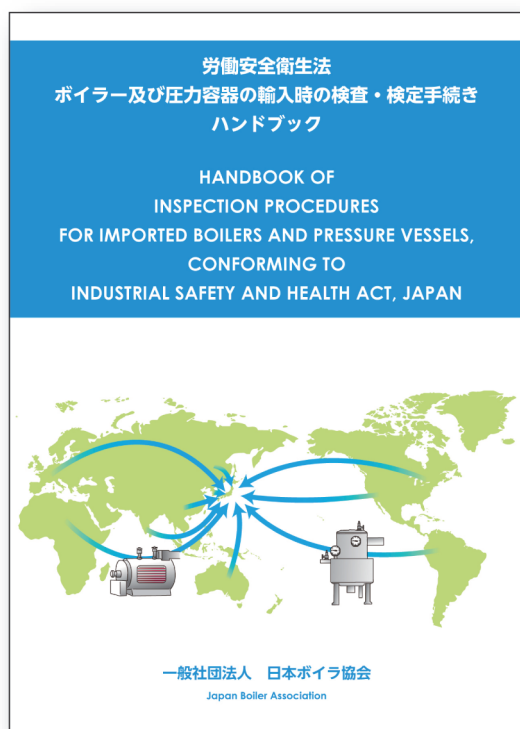


# 労働安全衛生法 ボイラー及び圧力容器の輸入時の 検査・検定手続きハンドブック

2019年6月発行

A4判 90頁 定価（本体3,500円＋税）



ボイラー及び圧力容器は、1基ごとに労働安全衛生法に基づく検査・検定等が必要であり、これらボイラー及び圧力容器を輸入して日本国内で販売・設置・使用する場合にも、あらかじめ労働安全衛生法に基づく検査・検定等が必要です。本書は、外国で製造されたボイラー及び圧力容器について検査・検定等を受ける場合の手続きを解説したもので、ボイラー及び圧力容器を輸入し、国内で販売等をする皆様においては必携の手引書です。

## 本書の目次

はじめに

### 第1章 労働安全衛生法におけるボイラー及び圧力容器

- 1 労働安全衛生関係法令
- 2 対象となるボイラー、圧力容器の範囲と区分及び使用検査・個別検定の受検
  - (1) ボイラー
  - (2) 圧力容器
  - (3) 他の法令の適用を受けるものの適用除外

### 第2章 ボイラー及び圧力容器の検査・検定

- 1 輸入時の検査・検定
  - (1) 使用検査
  - (2) 個別検定
- 2 ボイラー及び圧力容器の輸入時の検査・検定の手続き

- (1) 輸入ボイラー・圧力容器が流通可能になるまでの流れ
- (2) L輸入後に製造国において指定外国検査機関が作成した基準等適合証明書を添付して日本において受検する方法
- (3) M輸入後に日本において受検する方法（Lを除く）
- (4) N輸入後に製造国において受検する方法

### 第3章 参考資料

- 1 申請書類様式
- 2 検査検定実施機関一覧（ボイラー及び圧力容器に係る部分の抜粋）
- 3 よくある質問と回答
- 4 日本語—英語対訳の例

◆ご注文はお近くの当協会都道府県支部、または当協会図書オンラインショップ ([https://www.jbanet.or.jp/online\\_shop/](https://www.jbanet.or.jp/online_shop/)) からお申し込みください。